



2024年6月14日

筑波大学附属聴覚特別支援学校

東日本電信電話株式会社 千葉事業部

## AR 技術などを用いて災害を疑似体験する「体験型防災教室」を実施しました

筑波大学附属聴覚特別支援学校（校長：伊藤 僚幸）と東日本電信電話株式会社 千葉事業部（千葉事業部長：井上 暁彦、以下「NTT 東日本」）は、2024年6月12日（水）に同校の5年生および6年生に対して「体験型防災教室」（以下「本教室」）を実施しました。

### 1. 背景・目的

筑波大学附属聴覚特別支援学校では、これからの災害シーズンを迎えるにあたり、「誰一人取り残さないための防災」として、本当に役に立つ防災知識を楽しく学んで身につけることを目的に、災害の教訓や危険性の伝承を幼少期から行うことで防災教育の充実につなげています。

こうした同校の取り組みを支援するために、NTT 東日本では、これまで培ってきた防災・減災への取り組みやノウハウをベースに、ICT（情報通信技術）やDX（デジタル・トランスフォーメーション）を活用した、災害を疑似体験する特別授業を実施しました。

具体的には、AR 技術<sup>※</sup>などを用いた仮想映像により、児童が楽しさや興味を持ちながら浸水災害の危険性をリアルに疑似体験するとともに、正しい防災・減災知識を身につけることで「自分の命は自分で守る」といった自助意識の強化を図りました。

※「拡張現実(Augmented Reality)」の略で現実世界にデジタル情報を付加する技術。

現実世界での体験にデジタル情報を重ね合わせ、便利で効率的な社会の実現など新たな価値を生み出す先端技術のひとつです。

### 2. 「防災教室」の概要

#### (1) 実施日時・場所

2024年6月12日（水）11:00～12:30

筑波大学附属聴覚特別支援学校 体育館（所在地：市川市国府台 2-2-1）

#### (2) 対象

筑波大学附属聴覚特別支援学校 5年生および6年生（計13名）

#### (3) 講師

NTT 東日本社員（2名）

#### (4) 当日の様様

##### ① 【講義】概要説明、災害講義

- ・防災・自然災害について学ぶ ※災害の特徴と基礎知識（種類やメカニズム・危険性など）
- ・防災クイズを通じて楽しく学ぶ

##### ② 【体験】疑似災害体験

AR 技術などにより体育館が浸水する仮想映像を用いて、浸水時の移動を疑似体験しました

##### ③ 【講義】日頃から習得し実践することが必要な防災対策

- ・災害発生時の情報収集方法およびローリングストック

(当日の様子)



防災についての講義



AR ゴーグルを使って体育館が浸水した状態を疑似体験



つぎのミライは、  
あなたの街から  
はじまる。

**NTT東日本グループ**